

防災かわら版

第4号 平成25年5月

発行：つくし野1・2丁目自治会 自主防災隊本部

★平成25年度つくし野1・2丁目自治会「自主防災隊組織」が固まり、新たに「衛生」担当ができました、よろしくお願ひします。

(自治会)

- ・ 防災隊長 (自治会長) 倉光典子
- ・ 防災副隊長 (防災部部长) 石原啓司
- (同副部长) 酒井雅章
- (同会計) 佐々木良子

(本部)

- ・ 本部長 嶋田秀行
- ・ 副本部長 齊藤勝利
- (自治会3副会長) 西野潔 鈴木匡 津村篤子
- ・ 書記 細見孝雄
- ・ 情報連絡 渋川典昭
- 小西マリ子
- 本田裕子
- ・ 消火 細見孝雄
- 佐野光夫
- 三谷正彦
- ・ 救出救護 齊藤勝利
- 内山元子
- 広瀬達朗
- ・ 避難誘導 渡邊啓子
- 竹田敏子
- 遠山浩通
- ・ 衛生 小西マリ子
- 佐久間幸恵
- 石原真理
- 内藤美千代
- 春名仁子



★お知らせ

つくし野1・2丁目自治会の**防災訓練が6月30日(日)午前中**に行われます。

今回は、ご近所の安否確認、集合場所(公園・駅前)参集、簡易トイレのデモなどの訓練のほか、参加記念品も用意いたしまして、みなさまのお役に立つようなメニューを準備しています。みなさま、ご参加ご協力いただきますようよろしくお願ひします。

(ウラも見てください)

★ごあいさつ 隊長 倉光典子

「災いは忘れたところにやってくる」「備えあれば憂いなし」と、先人は常に私たちに語り続けていました。しかし、便利で安全な生活の中では、つい忘れがちです。今こそ、大自然の中で生きる動物としての感性を磨いていきたいものです。では、何から始めましょう。自分でできる事は？家族で考えることは？地域でやれる事は？ひとつひとつ取りくんでいきませんか。自主防災隊は、月例会にて自治会でできることを考えています。このかわら版もその一つです。為になる情報をお伝えして参ります。ぜひご熟読下さい。

★おびにおん 本部長 嶋田秀行

お役所言葉ですが、「自助」「共助」「公助」という表現があります。大災害が起こった時、電気ガス水道の復旧や救出・救護、水・食料の供給に最短三日はかかると言われていています（公助）。だから三日間は、各自の生活対応が必要です（自助）。その時無事で元気な人が、災害に合ったお隣やご近所の方を助けようと言うのが自主防災隊活動の目的です（共助）。「共助」は「自助」の肩代わりではありません。自主防災隊本部としては、「自助」の啓蒙と必要な「共助」の充実に取り組んでいます。皆様のご理解とご支援をお願いします。

★情報連絡担当から 洪川典昭

災害時には地域の住民が協力して、減災や厳しい避難生活を過ごすため、地域の災害の情報を速やかに把握し、共有する情報連絡の仕組みが働くことが重要な課題の一つです。向こう三軒両隣のお付き合いが大切にされてきたのもこのような意味が含まれているからだと思います。つくし野地区は坂の多い地形に加えて、高齢者の方の居住が多い地区です。避難をする際、ちょっと声を掛け合うことも情報共有の第一歩になります。また、各ご家庭で、災害が起きた時の伝言ダイヤルなどによる連絡方法や避難場所を日頃話し合っておくことも誰でも出来る情報連絡活動の基本になります。

自主防災隊の情報連絡担当は、災害が起きた際に、防災隊として活動するための情報連絡のパイプ役です。

非常時の情報のやり取りの正確さと、情報を集め、的確な情報を必要とするところへ間違いなく速やかに伝えることが求められます。

防災訓練では、避難場所などでの情報収集と、防災隊本部への報告訓練や、本部の連絡を受け、避難者の安全のために必要な行動を行う訓練を行い、災害時の情報の整理や通信機器の円滑な操作が行えるよう取り組みます。

